

修士論文に向けて

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也

シナリオ

- 研究概要
- 変更要求の処理フロー
- コスト／工数表現の検討
- 今後の課題
- 参考文献

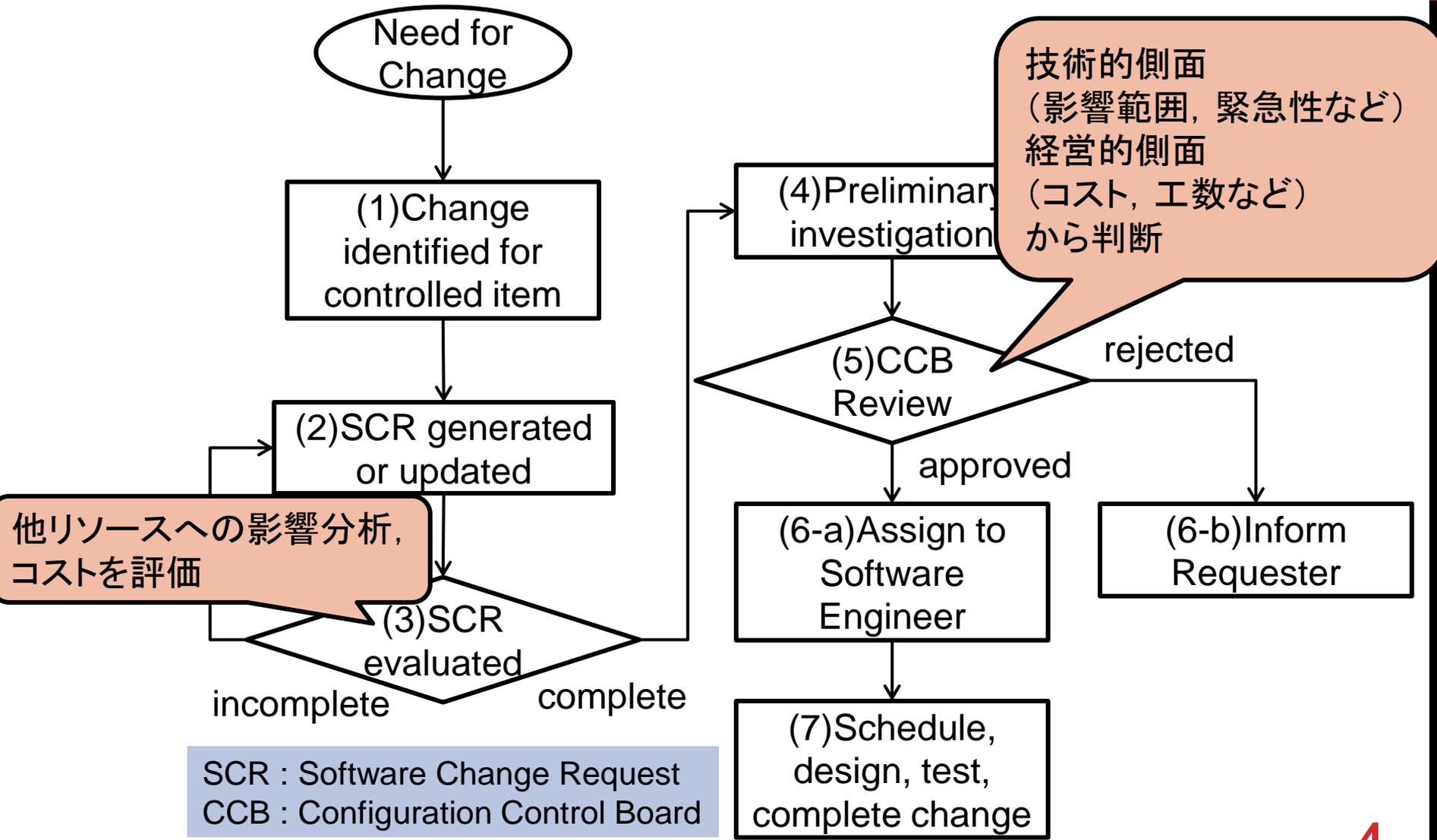
研究概要

- 論文題目 : OSLCに基づくソフトウェア変更要求管理方法の提案
 - ✓ OSLCに基づきソフトウェア変更要求モデルを定義
 - ✓ Webを介した変更要求の管理

- 今回の内容
 - ✓ 変更要求処理フロー
 - ✓ コスト／工数表現の検討

変更要求の処理フロー(1/2)

- SWEBOKで定義される変更要求処理フロー



変更要求の処理フロー(2/2)

プロセス	概要	変更要求の状態
1	変更箇所の特定	
2	SCRの作成／更新	in-progress
3	SCRの影響分析結果から評価	
4	レビューの事前準備	
5	CCBによるレビュー	reviewed/approved
6-a	承認されたSCRの割当て	
6-b	SCRが却下されたことをリクエストに通知	
7	変更の適用	closed

- (3)影響分析

- ✓ 前提条件：開発リソース間にリンクが存在
 - 変更対象リソースのリンク(トレース)により、影響範囲リソースを特定
 - 要求仕様書や成果物間のリンク(トレース)により、
前方／後方トレースが可能
 - 影響範囲から、必要なコスト／工数を見積もる

コスト／工数表現の検討(1/2)

- IEEE Std 828-2005

✓ 問題点: 影響分析によって見積もられるコスト／工数の表現が未定義

IEEE Std 828-2005		対応するCMリソースのプロパティ
必須	変更対象リソースの名前とバージョン	Relationship properties
	作成者の名前	dcterms:creator
	リクエストの日付	dcterms:created
	緊急性	oslc_cm:severity
	変更の必要性	
	変更の説明	dcterms:description
追加	優先順位	oslc_cm:priority
	分類	(dcterms:type)
	変更要求の番号	dcterms:identifier
	変更要求の状態	oslc_cm:state

コスト／工数表現の検討(2/2)

- 時間や期間を表現するプロパティ

- ✓ dcterms:extent

- リソースのサイズ, 実行時間などを表現

- 例:

```
<dcterms:extent>100 Kbytes</dcterms:extent>
```

```
<dcterms:extent>100 seconds</dcterms:extent>
```

- ✓ dcterms:temporal

- リソースの時間的特性(対象期間)を表現

- 具体的な期間(開始と終了が明確)のみ記述可能?

- 例:

```
<dcterms:temporal>name=World war 2; start=1939;  
end=1945; schema=W3C-DTF;</dcterms:temporal>
```

今後の予定

- (1)変更プロセス／モデルの定義
 - ✓ (1.1)プロセスに沿って必要なプロパティを列挙
 - ✓ (1.2)影響分析／レビューを掘り下げ, 用いるプロパティを考慮
- (2)プロトタイプを作成, 動作
 - ✓ 定義した変更プロセス／モデルを用いて作成
 - ✓ プロトタイプ作成の目的:
 - 定義するプロセス／モデルが実現可能か
 - Webを介したソフトウェア変更管理が可能か

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
(1.1)						
11	12	13	14	15	16	17
(1.1),(1.2)						
18	19	20	21	22	23	24
(1.1),(1.2)						
25	26	27	28	29	30	31
(1.1),(1.2),(2)						

参考文献

- Project Management Institute, プロジェクトマネジメント知識体系ガイド, 第4版, PMI, 2008.
- IEEE Std. 828-2005, IEEE Standard for Software Configuration Management Plans, IEEE, 2005.
- IEEE Computer Society, Software Engineering Body of Knowledge (SWEBOK), 2013, <http://www.computer.org/portal/web/swebok> .
- OSLC-CM, Open Services for Lifecycle Collaboration – Change Management, February 28, 2013, <http://open-services.net/wiki/change-management/> .
- OSLC-TRS, Open Services for Lifecycle Collaboration – TrackedResourceSet, June 27, 2013, <http://open-services.net/wiki/core/TrackedResourceSet-2.0/> .

修士論文に向けて END

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也